

N.S.ニュース速報A

NSDAP/AO: PO Box 6414 Lincoln NE 68506 USA www.nsdapao.org

#1060 09.07.2023 (134)

レキシコン - Michael Kühnen

111 - ローマ字

ローマ人は、ゲルマン人、スラブ人、東インド・ヨーロッパ人とともに、アーリア人「種族」(「アーリア人」を参照)の一族である。彼らはヨーロッパ、特に大陸の南部と西部に定住した。人種的には、西方系のアーリア人に属する。歴史的には、彼らはファシズムの創造者であり、形成者である。しかし、ファシズムは、国家社会主義に比べて、現在の白人種の生存の危機に対して不十分であることが証明されている。したがって、国家社会主義は現在、ロマンス民族の間でも信奉者を増やし、第四帝国の一部としてヨーロッパのすべてのロマンス民族をロマンス連邦に統一するために戦っているのである。

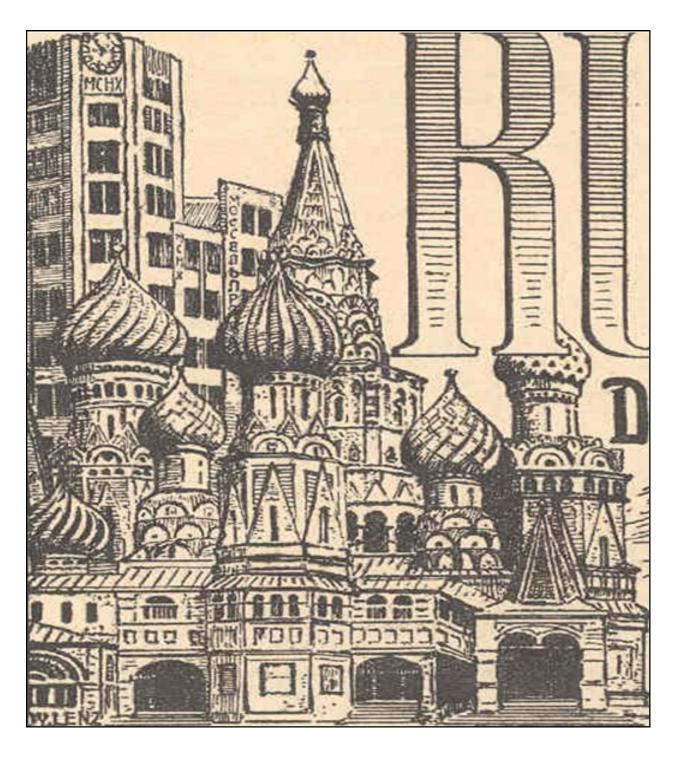
歴史的な国家社会主義は、もともと北欧・ゲルマン系の人間だけを対象としていたが、アーリア人種の苦境は、前述のように、自らを白人全体の組織的な生命への意志と見なさざるを得なくなったのだ。この意志の担い手は、国家社会主義世界運動の一翼を担うそれぞれの国家社会主義政党のロマンスピープルにもいる(国家社会主義ドイツ労働者党も参照されたい)。したがって、今日の新世代の国家社会主義は、種と自然に即してアーリア人全体の生存とより高い発展のための包括的な闘争において、西洋人タイプの種の保存と発展も保証する。



112 - RUSSIA

ロシア人はスラブ民族の中核をなす民族であり、人種的には東方系の アーリア人が多い。歴史的に見れば、ロシア人は東ローマ帝国ビザンティウムの後継者であり、東欧帝国思想の民族的担い手である。その政治的表現は、何よりもスラブ民族の統一を目指す汎スラブ主義である。

汎スラブ主義の伝統から、ロシアと汎スラブの国家社会主義が生まれ、来るべき第四帝国のヨーロッパ大秩序の中にスラブ連邦を作り、その中でロシア人は、その歴史的影響力とヴォルキッシュの力から、重要な意義を持



つことになるのである。このような民族の自由と、スラブー般とロシア人 民の本性・性質に応じた発展という観点から、民族社会主義は、とりわけ ソ連において、支配的マルクス主義を精神的に克服し、共産党独裁を粉砕 し、もってその帝国主義を打破する力を獲得していくのである。ロシア人 の解放は、ソビエト帝国の死の前提条件である! しかし、歴史的経験、特に第二次世界大戦の経験と核時代の状況は、そのような外からの、あるいは戦争による解放の可能性を信じることを禁じているのである。こんなことができるのは、ロシア人自身だけだ。ロシア・ナチス運動の実証された基礎と継続的な存在、その他の関連する民族的なロシアと汎スラブ的な願望によって、このロシアの解放はすでに始まっているのである。

これに対し、新世代のドイツ国家社会主義は、東方拡大という考えを放棄し、十分な生活空間を確保するための新しい方法を追求する。したがって、新戦線は、結果として、ドイツの統一、自由、主権を最終的に取り戻すために、中立を目標とするドイツ民族のオストポリティクスを目指すことになったのである。

113 - 自己決定権

生物学的人文主義は、国家社会主義の科学的知の教義として、人間の生物学的本性、自然の法則が人間の個人生活および共同生活に及ぼす影響、人間の自然および文化的共同社会に対する帰結を認識し、それによって種と自然に従って行動する条件を作り出すよう努力するものである。人間の社会的共存のための最も重要な生物学的基盤は、次のとおりである。

遺伝、生存競争における選択(エリートの項も参照)、身体的および精神的な気質の両方における分化。

国家社会主義は、人種衛生とエリート形成の政策を通じて、遺伝と淘汰の生命法則を考慮に入れている。分化から、国家社会主義は、個人、性別(母性を参照)、民族、人種に展開する、人間という生物学的種における生命の多様性への尊敬を導き出すのである。これが、個人を人格に、人民を国家に、民族を帝国と人種的に決定された民族共同体に導く国家社会主義の政策の基礎となり、人種隔離をその前提条件とするのである。

したがって、国家社会主義は、自己決定権を分化の生物学的自然法則から

導き出し、したがって、すべての人種、人民および民族の生存、より高い 発展および自由への権利を要求するのである。

この自決権の実現に成功するのは、同胞が意志の共同体、すなわち国家へと成熟する民族だけである。そのような国には、意志の担い手が必要です。アーリア人(「アーリア人」を参照)の間では、この任務は、さまざまな党を持つ国家社会主義の世界運動によって果たされている。ドイツでは、国家社会主義ドイツ労働者党がこれにあたる。NSDAPが、党綱領の第1項ですでに、人民の自決権に基づいて、全ドイツ人を大ドイツに統一することを要求しているのは、そのためである。

国家は、国民国家(「国家」を参照)を目指して自決権を実現するだけでなく、他の民族と団結して帝国を形成することもできる。したがって、新戦線は、将来新たに創設されるNSDAPの中核として、ドイツ国民の自由と自決の実現のために、より大きなヨーロッパの生活空間全体(ヨーロッパも参照)を包含することになる第四帝国の大秩序の枠内で、自決権に基づいて戦っているのである。

114 - セナート

国家社会主義元老院は、党の集合知を体現し、総統原理に従ってほとんど無制限の権限で現実を形作る党首と対置され、国家社会主義の理念の守護者として存在するのだ。党首は、他の党員と同様に、自分も思想と党に従属することを確保するために、上院に対して責任を負うのである。元老院は、64名の議員(大元老院)と24名の議員(小元老院)で構成され、一種の実務委員会を形成している。

議員には、思想的信念と不動心、党内紛争に対する無私と公平、党への忠誠心、誠実さ、党員同志の間での無制限の評判に関して、最も高い要求がなされることになる。任命された時点で、彼らはもはや活発な闘争中であってはならない。すなわち、利害関係や闘争、日々の組織的な仕事のあらゆる些事に絡めとられてはならないのだ。

議員は、上院の全会一致で終身制になり(党首は拒否権を持つ)、また、 ふさわしくない場合は、他の議員全員の一致によってのみ、上院から除名 することができます。共同体として、つまり全会一致で決定することで、 上院は特別な権限を持つことになります。

上院は党首を選出する。また、単独で党首を解任することも可能です。党首のすべての決定に対して拒否権を持ち、党首が拒否権を持つものの、自ら党に命令を出すことができる。しかし、元老院は原則として党首への助言にとどめ、原則が危うくなったときだけ介入することにしている。党による権力掌握後、元老院の権限は、当時台頭しつつあった国家社会主義フォルクスシュタート(国家を参照)のすべてのレベル、そして最終的には新秩序において準用される。

ドイツにおける第二期闘争の現状では、国家社会主義ドイツ労働者党の再確立が完了すると同時に、元老院が結成されるのである。党首が最初の24人の議員を任命し、それによって、すでに就任している議員はそれぞれ拒否権によって共同体としての新たな任命を阻止することができる。24人の



議員になると、すべての権限を持つ国家社会主義元老院が構成され、アドルフ・ヒトラー総統の願いが実現する。

この活動を通じて、最も古く、最も忠実で、最も有能な数多くの運動指導者が、党の最高指導部と直接つながるようになるのです」。この運動の大元老院に所属することは、将来的には運動の最大の名誉であると感じられ、また見なされるであろう。"

115 - スレイヴス

スラブ人はゲルマン人、ローマ人、東インド・ヨーロッパ人とともに、 アーリア人種(アーリア人参照)の一族で、ヨーロッパでは主に大陸の東 部に定住している。人種的には、スラブ人はアーリアニズムの東方人種型 に属している。その中心的な民族、同時にソビエト帝国(「ソビエト連 邦」も参照)の民族的担い手であるのがロシア人である。

歴史的には、スラブ人は東ローマ帝国ビザンティウムの後継者であり、パン・スラヴィズムの創造者であり、形成者である。その政治的課題は、東ヨーロッパをマルクス主義とソ連の独裁から解放し、来るべき第四帝国、すなわち国家社会主義のヨーロッパ大秩序に組み入れることである。

この帝国の中で、国家社会主義は、すべてのスラブ民族に、その歴史的生息地における種の保存と発展を保証し、スラブ連邦におけるすべてのスラブ民族の統一という汎スラブ主義の目標を実現するのである。もちろん、国家社会主義は、この汎スラブ主義から、ゲルマン民族、とりわけドイツに対する歴史的な前衛的立場を取り上げるが、それは、すべてのアーリア民族と下等に種の保存と種の発展を保証し、それによってアーリア民族全体としての将来を確保するためである。

国家社会主義は、もともと北欧・ゲルマン系の人間だけを対象にしていたが、現在の白人全体の窮状を考えると、民族全体の組織的な生きる意志として考えざるを得なくなった。この意志の担い手は、スラブ民族において

も、それぞれの国家社会主義政党をもつ国家社会主義世界運動であり、ドイツについては国家社会主義ドイツ労働者党がそうである。

このようにして、国家社会主義はまた、アーリア人全体の種と性質に応じた生存とより高い発展のための闘争において、将来における東方人種の種の保存と発展を確保するのである。その前提は、ソビエト帝国の打倒と崩壊によるスラブ民族の解放である。原子時代には、この解放は内面からしか生まれない。

したがって、この長期的展望は、まずソ連帝国との交渉を通じてドイツの 統一と自由と主権を回復しようとする一方で、西と東から独立したドイツ 国家の外交政策の中立を目指すGesinnungsgemeinschaft der Neuen Frontが主 張する国家ドイツのオストポリティクスを妨げるものではあるまい。

卍の下で楽しむ

ゲルハルト・ラウクによる逸話集

出版社NSDAP/AO, PO Box 6414, Lincoln, NE 68506 USA nsdapao.info & nsdapao.org
Copyright 1993 NSDAP/AO

米国で印刷されたものです。

58.

日曜日、私たちはミニ・エディションを大量に積んで、再び道路を走った。コーヒーを飲むために立ち寄った時、イタリア人のオーナーに尋ねた。"テーブルに政治的な文献を置いてもいいですか?"と。彼は、"もちろん、好きにしてくれ"と言った。

コーヒーを飲んでいると、「誰がこの*ゴミをここに置いたん*だ!」と、 病気の砂利のような吐き捨てるような声が聞こえてきたんです。その日は ルドルフ・ヘス記念日だったので、何をしなければならないか分かってい た。

私は店主のところに行き、"はい、うちの新聞が嫌いな人がいるそうです!"と言った。彼は(とても丁寧に)"この件に関しては何も知らない"と言った。すると、さっき見かけた大きくて太った白髪の、醜いカエル顔のユダヤ人が、「ここは我々の街だ、このナチ...パンクめ!」としゃべり出した。

私は振り返って冷静にその生物と向き合った。"お前は俺をチンピラと呼んだか、コウモリ耳?"彼の目は震え、怒りで紫色になり、震える唾を吐きながら叫んだ。"警察を呼んで、お前をしばらく*牢屋に入れてやる*!"と。(今、カフェにいた全員が見て、聞いていた。) 私は答えた、「オン、そう?何のために?ガス室はなかったと言うのか?ホロホロはユダヤ人による歴史上最大の詐欺だと言ったからか?それとも、アドルフ・ヒトラーが私の名付け親で、今でも彼を愛していると言ったことに対してか!」。

妻は殴り合いの喧嘩になりそうな気配を感じて、私たちの間に入ってき

て、「いいわ、彼はユダヤ人ね。あなたは国家社会主義者でしょう。彼に何を望むんだ?同志になれというのか?彼女がそう言っている間に、口の大きなヒキガエルはドアからキャデラックに飛び乗った。

帰る前に、オーナーに「私のミニ・エディションを外してほしいか」と 尋ねました。すると彼は、「いや、嫌いな人は見なくていい。ただ、ここ で喧嘩はしないでね!」と言われました。

お礼を言い、コーヒーを飲み干した後に会計を済ませ、ルドルフ・ヘス を偲ぶ配布ミッションを完了した。







NSDAP/AOは世界最大です

国家社会主義プロパガンダサプライヤー!

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物 多くの言語の何百冊もの本 多くの言語の何百ものウェブサイト





www.third-reich-books.com